

viの使い方

viエディタ

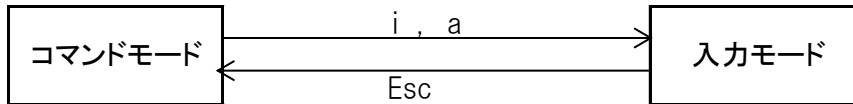
LinuxやUNIXで標準的に使われているエディタです。

viの開き方

vi [-R] [ファイル名]

オプション	説明
-R	読み取り専用モードでファイルを開く

viエディタの特徴は、コマンドモード、入力モードという2つの動作モードを切り替えながら使う点である。



viの入力モード

コマンド	説明
i	カーソルの前にテキストを入力する
a	カーソルの後にテキストを入力する
I	行頭の最初の文字にカーソルを移動し、その直前にテキストを入力する
A	行末にカーソルを移動し、その直後にテキストを入力する
o	カレント行の下に空白行を挿入し、その行でテキストを入力する
O	カレント行の上に空白行を挿入し、その行でテキストを入力する

viのカーソル操作

コマンド	説明
h	1文字左へ移動する。左矢印(←)キーと同じ
l	1文字右へ移動する。右矢印(→)キーと同じ
k	1文字上へ移動する。上矢印(↑)キーと同じ
j	1文字下へ移動する。下矢印(↓)キーと同じ
0(ゼロ)	行の先頭へ移動する
\$	行の末尾へ移動する
H	画面の一番上の行頭へ移動する
L	画面の一番下の行頭へ移動する
gg	ファイルの先頭行へ移動する
G	ファイルの最終行へ移動する
nG	ファイルのn行目に移動する
:n	ファイルのn行目に移動する

viの終了、ファイル保存、シェルコマンドの実行

コマンド	説明
:q	ファイルへ保存せずに終了する。(編集した場合は保存するかどうかを確認してくる)
:q!	編集中の内容を保存せずに終了する
:wq	編集中の内容を保存して終了する
ZZ	編集中の内容を保存して終了する(:wqと同じ)
:e!	最後に保存した内容に復帰する
:r ファイル名	ファイルの内容をカレント行以降に読み込む
:!コマンド	viを終了せずにシェルコマンドを実行する
:r!コマンド	シェルコマンドの実行結果を挿入する

viの編集コマンド

コマンド	説明
x	カーソル位置の文字を削除する>Delete
X	カーソル位置の手前の文字を削除する>Backspace
dd	カレント行を削除する
dw	カーソル位置から次の単語までを削除する
yy	カレント行をバッファにコピーする
p	カレント行の後にバッファの内容を貼り付ける
P	カレント行の前にバッファの内容を貼り付ける
r	カーソルの1文字を置換する

viの検索コマンド

コマンド	説明
/ パターン	カーソル位置から後方に向かって指定したパターンを検索
? パターン	カーソル位置から前方に向かって指定したパターンを検索
n	次を検索する
N	次を検索する(逆方向)
:noh	候補のハイライト表示を解除する
:%s/A/B/	最初に見つかった文字列Aを文字列Bに置換する
:%a/A/B/g	すべての文字列Aを文字列Bに置換する

viの設定変更

コマンド	説明
:set nu	行番号を表示する(:set number と同じ)
:set nonu	行番号を非表示にする(:set nonumber と同じ)
:set ts=タブ幅	タブ幅を数値で指定する